

観点・到達度水準 ----- 学習・教育到達目標との対応	優 (A)	良 (B)	可 (C)	到達度
研究計画立案 ----- (◎F、OD、OE、OG、OH)	<u>優れた</u> 研究テーマを自主的に設定できる。研究テーマに関する研究動向の把握が <u>優れている</u> 。客観的・合理的な観点から <u>優れて質の高い</u> 研究計画を立案することができる。	<u>適切な</u> 研究テーマを自主的に設定できる。研究テーマに関する研究動向を <u>適切に</u> 把握できる。客観的・合理的な観点から <u>良質な</u> 研究計画を立案することができる。	研究テーマを自主的に設定できる。研究テーマに関する研究動向を把握できる。客観的・合理的な観点から研究計画を立案することができる。	
研究遂行 ----- (◎E、◎J、OD、OE、OG、OI、OK)	学問的に妥当と認められる手法で、 <u>優れて質の高い議論を展開し、問題に対する結論を導くことができる。</u>	学問的に妥当と認められる手法で、 <u>正確に問題に対する結論を導くことができる。</u>	学問的に妥当と認められる手法で、問題に対する結論を導くことができる。	
口頭発表 ----- (◎A)	得られた成果をもとに <u>他の模範となるような効果的なプレゼンテーション</u> を行い、質疑に対して <u>的確に</u> 回答できる。	得られた成果をもとに <u>適切なプレゼンテーション</u> を行い、質疑に対して <u>的確に</u> 回答できる。	得られた成果をもとにプレゼンテーションを行い、質疑に対して回答できる。	
論文作成 ----- (◎J、OI)	<u>社会的・学術的に意義のある優れた</u> 研究成果を論文に取りまとめることができる。	<u>社会的・学術的に意義のある</u> 研究成果を論文に取りまとめることができる。	該当分野に関する基礎知識を有した他人が理解できるよう、研究成果を論文に取りまとめることができる。	
研究者倫理 ----- (◎B、OC、OK)	責任ある研究行為について <u>十分に</u> 理解し、 <u>他の模範となるような</u> 研究倫理に配慮した対応が <u>適切に</u> できる。	責任ある研究行為について理解し、研究倫理に配慮した対応が <u>適切に</u> できる。	責任ある研究行為について理解し、研究倫理に配慮した対応ができる。	

※下線部は、可を基準に優れた点または良い点を示している。観点・到達度水準欄のアルファベットは、学習・教育到達目標との対応を示している。

指導教員名